



2008 年 11 月 11 日

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会

2008-2009 日本カー・オブ・ザ・イヤー 「トヨタ iQ」に決定！

2008-2009 インポート・カー・オブ・ザ・イヤー 「シトロエン C5」に決定！

特別賞

Most Advanced Technology	日産 GT-R
Most Fun	スバル エクシーガ
Best Value	ホンダ フリード

以上のように決定いたしました。

今回で 29 回目を迎えた、2008-2009 日本カー・オブ・ザ・イヤー最終選考会が 11 月 10-11 日、神奈川県・大磯プリンスホテルにて開催されました。開票の結果、日本カー・オブ・ザ・イヤーは、トヨタ iQ に決定。インポート・カー・オブ・ザ・イヤーにはシトロエン C5 が選ばれました。また、特別賞「Most Advanced Technology」に日産 GT-R、「Most Fun」にスバルエクシーガ、「Best Value」にはホンダフリードが選ばれました。

■日本カー・オブ・ザ・イヤー投票結果

1 位 iQ (トヨタ自動車)	526 点
2 位 シトロエン C5 (プジョー・シトロエン・ジャポン)	223 点
3 位 GT-R (日産自動車)	201 点
4 位 アウディ A4/A4 アバント (アウディジャパン)	180 点
5 位 ジャガーXF (ジャガー・ランドローバージャパン)	115 点
6 位 タント (ダイハツ工業)	100 点
7 位 フィアット 500 (フィアットグループオートモービルズジャパン)	90 点
8 位 フリード(本田技研工業)	62 点
9 位 アテンザ (マツダ)	60 点
10 位 ワゴン R/ワゴン R スティングレー (スズキ)	37 点
11 位 エクシーガ(富士重工)	31 点

合計点 1625 点 選考委員 65 名 有効投票数 65 票



各賞の主な受賞理由は以下のとおりです。

日本カー・オブ・ザ・イヤー：受賞車 トヨタ iQ

全長 3m 弱というミニマムなボディに、4 人乗りを可能としたパッケージング&デザイン。さらに 9 エアバッグを装備し、高い安全性と環境への配慮もバランスよく実現した“革新的”な FF 車である。

インポート・カー・オブ・ザ・イヤー：受賞車 シトロエン C5

独自のハイドラクティブ・サスペンションをはじめ、移動空間としての車の基本性能をまじめに追及した、ヨーロッパならではのセダン作りが評価された。

Most Advanced Technology：受賞車 日産 GT-R

新構造ハイブリッドボディ、2 ペダルツインクラッチ、独立型トランスアクスル 4WD など独自開発の装備に加え、クリーン化とパワーの両立も実現させたスーパーカーであることが評価された。

Most Fun：受賞車 スバル エクシーガ

ドライバーだけでなく、従来の 7 人乗りのパッケージでは難しかった「2 列目、3 列目シートと同乗者全員も、ドライブの楽しさを共有できる」点が評価された。

Best Value：受賞車 ホンダ フリード

1.5ℓのコンパクトボディで 7 名乗車を実現し、イニシャル&ランニングコストを含め、誰にでも手が届きやすいリーズナブルな価格設定が評価された。

なお、詳細結果は、日本カー・オブ・ザ・イヤーのホームページに掲載いたします。

日本カー・オブ・ザ・イヤー URL : <http://www.jcoty.org/>



■ご参考

各賞の受賞者リストは以下のとおりです。

■日本カー・オブ・ザ・イヤー（トヨタ iQ）

トヨタ自動車（株） トヨタ第2乗用車センター 製品企画 チーフエンジニア
中嶋 裕樹（ナカジマ ヒロキ）

■インポート・カー・オブ・ザ・イヤー（シトロエン C5）

プジョー・シトロエン・ジャポン（株）代表取締役社長
Thierry Poirat（ティエリー ポワラ）

■Most Advanced Technology（日産 GT-R）

日産自動車（株） マーケティング本部 マーケティング・ダイレクター
木屋 泉（キヤ イズミ）

■Most Fun（スバル エクシーガ）

富士重工（株）
スバル商品企画本部 プロジェクトゼネラルマネージャー
大雲 浩哉（オオクモ ヒロヤ）

■Best Value（ホンダ フリード）

（株）本田技術研究所 四輪開発センター LPL 主任研究員
安田 浩志（ヤスダ ヒロシ）

日本カー・オブ・ザ・イヤーは、雑誌を中心とした37媒体からなる実行委員会（実行委員長 三好正巳）から構成されており、実行委員会から選出された選考委員65名が、実際に投票を行なってイヤー・カーを選び出すシステムとなっております。

29回目となる、2008-2009日本カー・オブ・ザ・イヤーは、2007年11月1日から2008年10月31日までに日本国内に於いて新型車として発売されたクルマから41台をノミネート、この41台の中から選考委員65名の投票により、11月4日に10ベストカーが決定されました。これを受けて選考委員が最終確認を行う10ベストカー試乗会を11月10日に大磯プリンスホテルで開催し、その後、選考委員65名の投票を実施。本日その開票を行い、イヤーカーを選出しました。

各委員の持ち点は25点で、1車種に満点となる10点を必ず投票、残り15点を4車種に配点することが義務づけられています。また、今年度はイヤー・カーが国産車であったため、輸入車のなかで最も得点の高かったシトロエン C5、インポート・カー・オブ・ザ・イヤーの栄誉が与えられることとなりました。

また、特別賞3賞は41台のノミネートカーの中から、各賞に値するクルマに選考委員が1ポイントを投票して選出、決定されました。

■この件に対する問い合わせ先

日本カー・オブ・ザ・イヤー広報担当：阪本透
（株）モーターマガジン社 ホリデーオート編集部

TEL：03-3434-3160 FAX：03-3434-3163

e-mail：toru.s@motormagazine.co.jp

日本カー・オブ・ザ・イヤーURL：<http://www.jcoty.org/>

プレス専用サイトURL：<http://www.jcoty.org/press/press.html>